

## 平成22年度事業報告

### 1 理事会

#### H22.5/21 平成22年度(財)因幡街道ふるさと振興財団第1回理事会

- ・平成21年度事業報告
- ・平成21年度一般会計収支決算報告について
- ・平成21年度特別会計収支決算報告について
- ・資産の譲渡について（一号蔵前扉）

#### H23.3/3 平成22年度(財)因幡街道ふるさと振興財団第2回理事会

- ・平成22年度第一回一般会計収支補正予算(案)について
- ・平成22年度第一回特別会計収支補正予算(案)について
- ・平成23年度事業計画(案)について
- ・平成23年度一般会計収支予算(案)について
- ・平成23年度特別会計収支予算(案)について
- ・その他（今後の法人化に向けて説明）

### 2 事業内容

#### (1) 文化美術品展示事業

##### ア Keiko・萬桂 作品展

- ・3/20(土)～4/29(木) 母屋・2号蔵・3号蔵展示室

期間中のイベント：「萬桂 舞書」パフォーマンス

- 4/25(日) 午後2時～3時 母屋前の広場

鳥取県岩美町にアトリエを構え、全国各地で活躍中の美術家、Keiko・萬桂さんを取り上げ、県内外に紹介。石谷家住宅の大きな「土間」の空間や蔵の展示室に屏風や掛軸などの作品を展示。会中には「舞書」と命名されたパフォーマンスのイベントもあり、古い建物と現代書の組み合わせを楽しんで頂く企画。総合的な評価は「書」を表現した作品が少なかつた事もあり、建物のなかにある現代美術の作品は似合わないという意見が多かつた。

##### イ 木彫フォークアート展

- ・6/3(木)～7/12(月) 1号蔵展示室

兵庫県養父市大屋町で平成6年から始まった全国公募の木彫作品展。木彫フォークアート(私たちの生活に身近で親しみやすいアート)で町おこしをおこなっている大屋町。智頭町も林業で栄えた町ですが、近年は就業者も少なく、林業の町として今後の参考になればと企画しました。大屋町に収蔵された作品は90点以上もあり、常設展示室を訪れる人も多く、見て楽しく、技術の高い作品は印象に残り、リピーターも多くなっている。石谷家住宅での展示期間中もリピーターがあり、お客様に楽しまれた展示でした。

##### ウ 田中寒桜作品展

- ・7/15(木)～9/13(月) 1号蔵展示室

鳥取市河原町小畑に生まれ、約20年の教員生活のあと西日本の各地を遍歴。独特な哲学感を持ち、放浪の俳人・哲人・奇人などと呼ばれ、数多くの作品を詠んだ。智頭町内にも作品が多く残されており、改めて顕彰していく機会とする。河原町の田中寒楼顕彰会所蔵作品のなかから25点。智頭町内から13点を展示。作品展を見に来られた方々から田中寒楼の作品があるのてみてほしいとの問い合わせがあり、多くの作品が発見できた。

## (2) 文化施設交流事業

ア 木紙墨一吉村青谷「書」作品展 和紙開発・提供：秋吉保久

・9/16(木)～11/3(水)

1・2・3号蔵展示室、智頭町内5ヵ所に展示

秋吉保久氏は平成7年に現代の名工に選ばれる等、抄紙工として常に新しい壁紙の商品開発に取り組んでおられます。それ以外にも作家の紹介や提案を企画。この度は、青谷の因州和紙と智頭の杉材を使い、青谷在住で書家の吉村青谷氏の「書」を石谷家住宅と町内5ヵ所の場所に展示して智頭町をPR。各場所の展示施設は雰囲気の違い、今後の企画の参考になりました。

イ 「足羽俊夫写真展」一日南町美術館所蔵一

・11/4(金)～29(月) 1・2号蔵展示室

パリ在住で、日南町美術館の館長でもあり。油彩画、写真家と幅広く活躍。美術館に寄贈された写真のなかから画家の目で見えた各国、日本の風景・油彩画・デッサン・版画を展示。鳥取県西部の施設間交流は初めてであり、それぞれに訪れる観光客の違いもあるので、多方面に発信することが目的。期間中、県西部から足羽画伯の知人や関係者も多数みえた。今後も他の施設と交流を増やしてお互いをPRする。

## (3) 観光振興事業・国際交流事業

ア 「時を見る」一古時計と昭和レトロの物達一

・4/18(日)～5/31(月) 1号蔵展示室

懐かしい記憶や新しい感覚で、古い道具や機械を見るのも楽しいと思います。とくに日々接してきた時計には、それぞれの思い出があります。明治・大正・昭和の時計や昭和の電気製品などを展示。展示した物品は町内で所有されている物や道具類です。石谷家住宅を訪れる年齢層は50・60代の方が多く、懐かしと楽しむ人が多かった。

イ 「石谷家のお雛様と遊び雛」

・1/27(木)～4/5(火) 1号蔵展示室・石谷家住宅母屋

石谷家のお雛様と智頭の町並み。毎年の恒例行事として全国に発信。智頭町・石谷家住宅の知名度を高め観光客を増やしてゆく。展示期間は長いですが、智頭宿界隈で行われる事業と連携をし、雪祭り・ひなあらし・近隣の用瀬町で行われる流し雛行事で、観光客の誘致を図る。本年度は例年に比べ雪が多く、個人、団体客が減少しました。

ウ 智頭宿界隈の屋号表示

屋号の看板を、智頭宿の各家庭に協力をお願いして表示。年々増やして訪れ

る観光客に楽しみながら町並みを散策して頂く。本年度は残りの4カ所に屋号の看板を設置。合計12カ所に屋号の看板があり、町並みを歩く時に話題となることで、観光客と町民が触れ合う機会を提供する企画でもありました。

エ 智頭宿雪まつりと連携。

「田中彬博ギターコンサート」2/5（土）午後2時～・5時～（二回公演）

毎年恒例の「雪まつり」2/5（土）・6（日）の二日間。石谷家住宅はコンサート会場として提供。今回、田中彬博さんは2010年9月にアメリカで行われたギターコンテストで日本人初、大会史上最年少でグランプリを獲得。年々知名度が高くなり、楽しみにしている方が多くなっている。当日は町並みにも雪が残り、天候もよく昨年比べ入館者は多かった。

(4) 文化財保護啓発事業

ア 智頭の枕田遺跡展

・12/2（木）～1/24（月） 1号蔵展示室

智頭の枕田遺跡から出土した縄文・弥生・古墳時代の複合遺跡を紹介展示。発掘された遺跡の調査が進み、新たに発見できた資料や遺跡を紹介。智頭の歴史を町民に周知することが目的とした展示。新聞に記事が載り、町内外から訪れる方もいました。

イ 古文書調査

「石谷家文書」は平成21年度までの調査・目録点数は6,500点あり、町民の学習講座で紹介されています。本年度はこれまでの調査資料の時代編年作業を試みるものであり、資料を解読して町民に伝え、後生へ伝えていく責務があります。さらに、町民から提供された文書も多く、歴史的資料を合わせて開陳し、解読することで地域の活性化に繋がられる手段となっている。

(5) 石谷家住宅の管理運営

ア 文化財としての建物及び庭園の管理

「庭園特別公開」・5/1（土）～5（水）・11/12（金）～14（日）  
・11/19（金）～23（火）

鳥取県指定「石谷氏庭園」の魅力と庭園から眺める石谷家住宅を楽しむ。春と秋に石谷氏庭園の特別公開を実施。春の新緑、秋の紅葉と楽しめる石谷氏庭園は県内外にも周知されており、散策しながら身近に庭園と建物を楽しんで頂く企画。この季節は多くの方が智頭町を訪れるため、石谷家住宅や智頭宿に観光客を誘致して滞在時間を増やす事を目的としています。年々減少傾向でしたが、本年度は多くの方が庭園を散策されました。

イ 石谷家住宅の施設管理、防火訓練（年2回実施）

消火設備設置位置の確認と消火器具の点検、避難訓練。

平成23年1月23日 午前9時～9時30分

文化財保護を目的とした防火訓練を実施。八頭消防署と智頭消防団、石谷家住宅職員との連携で石谷家住宅の施設を訓練場所とした防火総合訓練。

